【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【公表番号】特表2014-515286(P2014-515286A)
【公表日】平成26年6月30日(2014.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2014-034
【出願番号】特願2014-512094(P2014-512094)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｊ　11/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｊ　11/00　　Ｃ
Ａ６１Ｊ　11/00　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成27年4月28日(2015.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
哺乳瓶（９０）用の授乳アセンブリ（１０）であって、
容器から流体を受け入れる制御乳首（１２）と、
前記制御乳首から前記流体を受け入れるように配置され、前記流体が前記授乳アセンブリから通過する授乳放出口（５６）を有する放出乳首（４０）と、
を備え、
前記制御乳首と放出乳首とは第１の位置から第２の位置へ相対移動することができ、前記流体が、前記第１の位置において第１の流量で前記制御乳首の先端（１４）から前記放出乳首へと移送され、前記第２の位置において、前記第１の流量と異なる第２の流量で前記制御乳首の先端を通って前記放出乳首へと移される授乳アセンブリ。
【請求項２】
前記制御乳首（１２）の前記先端（１４）が複数の選択可能な設定放出口（１６ａ～１６ｃ）を備え、前記設定放出口の少なくとも１つが前記第１の流量に対応し、前記設定放出口の他の少なくとも１つが前記第２の流量に対応する請求項１の授乳アセンブリ（１０）。
【請求項３】
流体が、前記第１の位置において前記第１の流量で前記設定放出口（１６ａ～１６ｃ）のうちの前記１つを流れ、前記第２の位置において前記第２の流量で前記設定放出口のうちの前記他の１つを流れる請求項２の授乳アセンブリ（１０）。
【請求項４】
前記制御乳首（１２）の前記先端（１４）が、低流量、中流量、高流量にそれぞれ対応する３つの設定放出口（１６ａ～１６ｃ）を含む請求項２の授乳アセンブリ（１０）。
【請求項５】
前記制御乳首（１２）の前記先端（１４）が、流体の流れが遮断される設定に対応する閉鎖部（１６ｄ）を含む請求項４の授乳アセンブリ（１０）。
【請求項６】
前記制御乳首の前記先端（１４）が前記複数の選択可能な設定放出口（１６ａ～１６ｃ）の形成される上平坦面（１８）を含み、前記設定放出口が前記上平坦面の外周に沿って相

互に間隔をおいて配置され、前記上平坦面に直交する重心軸（２０）に対して偏心して配置される請求項２～５のいずれかの授乳アセンブリ（１０）。
【請求項７】
前記放出乳首（４０）の前記授乳放出口（５６）が前記授乳アセンブリの前記重心軸（２０）に対して偏心して配置される請求項６の授乳アセンブリ（１０）。
【請求項８】
前記授乳放出口（５６）が、前記第１の位置において前記第１の流量に対応する前記設定放出口（１６ａ～１６ｃ）に揃えられ、前記制御乳首（１２）と前記放出乳首（４０）とを前記第１の位置から前記第２の位置へ相対的に回転させて、前記授乳放出口を前記設定放出口の前記他の１つに揃えることによって前記第２の流量に対応する前記設定放出口のうちの他の１つが選択される請求項７の授乳アセンブリ（１０）。
【請求項９】
前記制御乳首（１２）に堅く固定される乳首基部（２２）をさらに備え、調節リング（６０）が前記放出乳首（４０）に堅く固定され、前記乳首基部に対して前記調節リングを回転させることによって前記制御乳首と前記放出乳首とが前記第１の位置から前記第２の位置へと相対移動させられる請求項１～８のいずれかの授乳アセンブリ（１０）。
【請求項１０】
哺乳瓶（９０）用の授乳アセンブリ（１０）であって、
容器から流体を受け入れる第１の部分（７０）と、
前記第１の部分から前記流体を受け入れるように配置され、前記流体が前記授乳アセンブリから通過する授乳放出口（５６）を有する第２の部分（７２）と、
を備え、
前記第１の部分と前記第２の部分とが第１の位置から第２の位置へ相対移動可能であり、前記流体が、前記第１の位置において第１の流量で前記第１の部分を通って前記第２の部分へと移送され、前記第２の位置において前記第１の流量と異なる第２の流量で前記第１の部分を通って前記第２の部分へ移送される授乳アセンブリ。
【請求項１１】
流体を含有する容器部（９２）と、
請求項１～１０により定義される前記授乳アセンブリ（１０）と、
を備える哺乳瓶（９０）。